

---

## 中国の記事から（畜産）

---

2007年2月20日号

### 目次

◎農業部「草原環境は部分改善、全体悪化」

【経済日報 2007年02月13日】

◎農業部「草原環境は部分改善、全体悪化」

【経済日報 2007年02月13日】

農業部は9日に「全国草原監測報告」を発表、2006年の全国草原の草の量は9億4313万トン（前年比0.6%増）に達したことを明らかにした。これは干草2億9587万トン、ヒツジを2億3161万頭飼育できる量に相当するもの。報告は「草原の生態環境は部分的に改善されているが、全体的には悪化している」としている。また、草原の生産力は例年より向上、特に新疆ウイグル自治区、寧夏回族自治区、甘肅省、青海省では牧畜を廃して草原回復を図る事業が成果を見せている。これら地区の植皮率は2～16ポイント増、草の高さは1～10センチメートル、草原の生物量も8～30%増加している。同事業を実施していない地区でも植皮率は前年より27%増、草の高さ56%増を記録している。

このほか、2006年1～11月に全国で発生した草原火災は342万件（前年比214件減）、被害面積は4万7300ヘクタール（同6117ヘクタール減）と過去最低となった。ネズミによる被害面積は前年比1.8%減の3749万ヘクタール（全国草原の9.5%）、虫害発生面積は同9.9%減の1683万ヘクタール（同4.3%減）となっている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により  
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て  
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。